平成14年7月26日

《資料2》

1 ビジョン部会検討内容

2 各委員レジュメ

① 内藤正明委員

② 酒井伸一委員

③ 永田勝也委員

④ 田中 勝委員

⑤ 郡 篤 孝委員

⑥ 高月 紘委員

ビジョン部会 検討内容 ～委員プレゼンテーションのテーマとポイント

【プレゼンテーション】各20分

内藤 正明 委員（京都大学大学院地球環境学堂学舎長）

有機系廃棄物のリサイクルと自立分散型社会 ⇨ 厨芥類リサイクルの方向、関係者間の連携のあり方

酒井 伸一 委員（国立環境研究所循環型社会形成推進・廃棄物研究センター長）

循環型社会と有害物質管理 ⇨ 有害廃棄物への対応

永田 勝也 委員（早稲田大学理工学部教授）

循環型社会づくりを巡る国等の動向（“経済産業省産業構造審議会の議論”など）と3R機能のまちづくりへのビルトイン（エコタウン）⇨ 上流対策のあり方、エコタウン

【検討内容】約30分

ごみをもとから発生させない製造・流通段階での取り組み（上流対策）として関係者の連携でできることは何か

ごみ処理システムのあり方・方向性とその考え方

【プレゼンテーション】各20分

田中 勝 委員（岡山大学大学院自然科学研究科教授）

循環型社会づくりを巡る国等の動向（“経済財政諮問会議循環型経済社会に関する専門調査会のまとめ”など）と廃棄物行政のあり方 ⇨ 費用・役割分担、行政の将来的役割

郡嶋 孝 委員（同志社大学経済学部教授）

循環型社会づくりと情報的手法・経済的手法 ⇨ 政策手法のあり方（自主的取組、情報的・経済的インセンティブ）

高月 紘 委員（京都大学環境保全センター教授）

循環型社会づくりと環境教育 ⇨ 消費者・市民への情報提供のあり方、教育システムとの連携

【検討内容】約30分

市民、事業者、NPO、行政の各々の役割（分担）をどのように考えるか

市民、事業者が主体的な取り組みを行えるよう行政はどのような環境を整備すべきか

部会委員の委員経歴

内藤 正明 委員（京都大学大学院地球環境学堂学舎長）

環境省・農林水産省有機性資源循環利用推進協議会座長
環境省環境影響評価総合研究会技術専門部会委員
京都市環境審議会計画部会部会長

酒井 伸一 委員（国立環境研究所循環型社会形成推進・廃棄物研究センター長）

環境省中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会委員
環境省 P O P s 対策検討会委員

永田 勝也 委員（早稲田大学理工学部教授）

経済産業省産業構造審議会環境部会委員、廃棄物・リサイクル小委員会企画ワーキンググループ委員長
経済産業省二次電池リサイクルシステム検討会、環境省パソコン等リサイクル検討会合同検討会座長
環境省中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会委員

田中 勝 委員（岡山大学大学院自然科学研究科教授）

経済財政諮問会議循環型経済社会に関する専門調査会委員
環境省中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会委員
環境庁環境影響評価制度総合研究会委員

郡嶌 孝 委員（同志社大学経済学部教授）

経済産業省産業構造審議会環境部会廃棄物・リサイクル小委員会企画ワーキンググループ委員、循環ビジネスワーキンググループ委員
環境庁環境会計システムの確立に関する検討会委員
京都市廃棄物減量等推進審議会会長職務代理者

高月 紘 委員（京都大学環境保全センター教授）

環境省独立行政法人評価委員会委員
文部科学省革新技术審査委員会環境対応分野委員
京エコロジーセンター館長
京都市廃棄物減量等推進審議会会長